



HDMI入力端子

取付要領書

品 番

HDMI 入力端子（ホルダータイプ）

086B0-00100

構成部品

No.	品 名	個数
1	HDMI ケーブル	1
2	アダプター	1
3	バンドクランプ	10
4	ハーネス固定テープ	2
5	保護シート	1
6	ホルダー	1
7	型紙	1
8	シール	1
9	ボルト (M4 × 12mm)	2
10	ナット (M4)	2
11	取扱書 (お客様用)	1

⚠ 注意

車両プラケット等のエッジ部付近で配線作業する際は、ケガをする恐れがある為、ケブラ手袋を着用してください。

取り付け上の注意事項

この取付要領書では安全な作業をしていただく為、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。

⚠ 注意 … 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたりする等の恐れがあることを記載しています。

注意 … 注意事項を守らないと車両や装備品が破損する等の恐れがあることを記載しています。

👉 アドバイス … スピードで作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

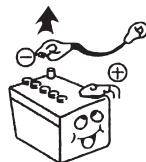
⚠ 注意

バッテリー接続中に作業を行う場合は、エアバッゲンセンサー等に衝撃を与えないよう充分注意してください。

- (1) 車を水平な場所に停車してパーキングブレーキを引き、輪留めを確実に行ってください。
- (2) 下回り作業中は、安全に配慮し、エンジン始動及び乗車は絶対しないでください。
- (3) 通常のキーによるエンジン始動・停止、電気式ドアロックが正常に作動する事を確認してください。
- (4) 車両部品の取りはずしに際しては、タッピング・スクリューやボルト、ナット類を紛失しないよう部品毎に整理し、復元作業時に間違いないよう配慮してください。また、車両及び取りはずした部品に傷を付けないよう取り扱いには充分注意してください。
- (5) バッテリー復元作業終了後、車両機能部品に初期化が必要な部品がありますので、作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。

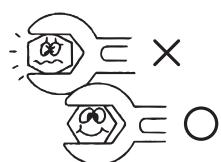
取り付ける前に

- バッテリーの(-)側ケーブルをはずす

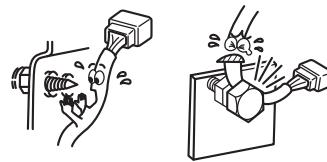


部品の取り付けは

- 寸法にあつた工具を使う

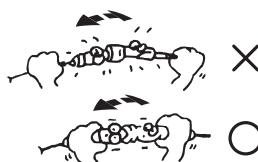


- 裏側に注意し、ハーネス噛み込みに注意する



配線は

- コネクターは本体を持ってはずす



- 車両ハーネスとまとめたり、クランプを使用して固定する



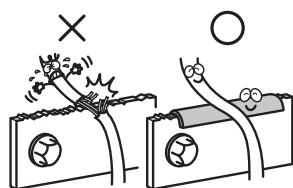
- コネクターは確実に接続する



- 無理に引っ張らない



- バリ・エッジ部は保護シート等で保護する



- 車両部品が確実に復元できるようハーネスを処理する



クランプは

- クランプは締め過ぎない

- 余った部分をカットする



- カットした端末が他のハーネスと接触しないように注意する

- コネクターを異音がないようにクランプする

取り付け完了後は

- 取りはずした車両部品は確実に復元する



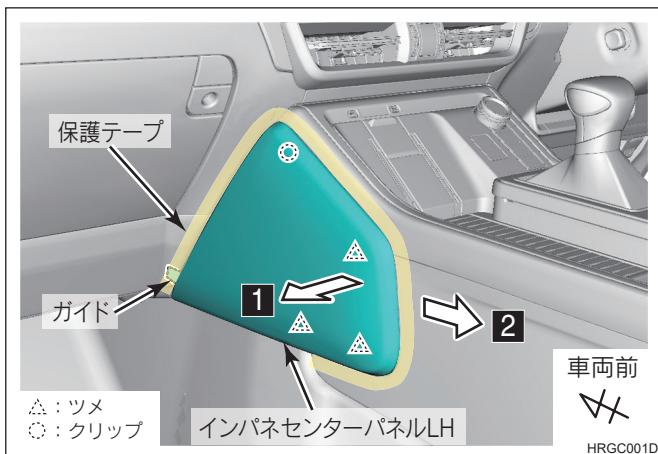
取り付けに必要な工具等

- ・一般工具、各種リムーバー、ニッパー、ハサミ、六角レンチ、保護テープ、ガムテープ、ケガキ針、ヤスリ、電動ドリル(Φ4.5)、ホルソー(Φ18)、保護メガネ、保護マット、メジャー、ケブラ手袋
- ・参照マニュアル・・・修理書

始業点検

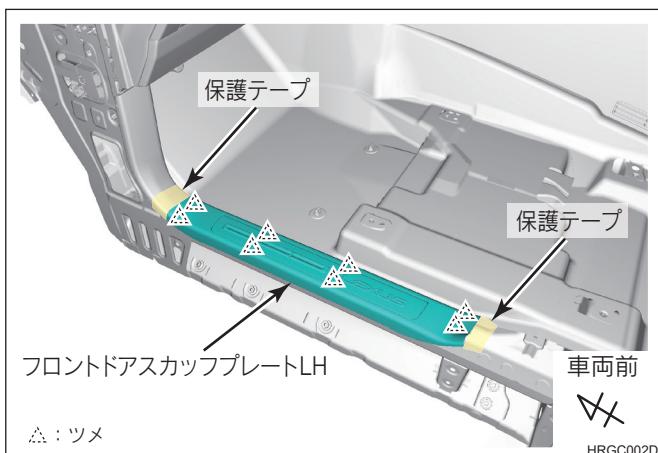
オーディオ等、電気系統の作動確認を実施してください。

車両部品の取りはずし要領

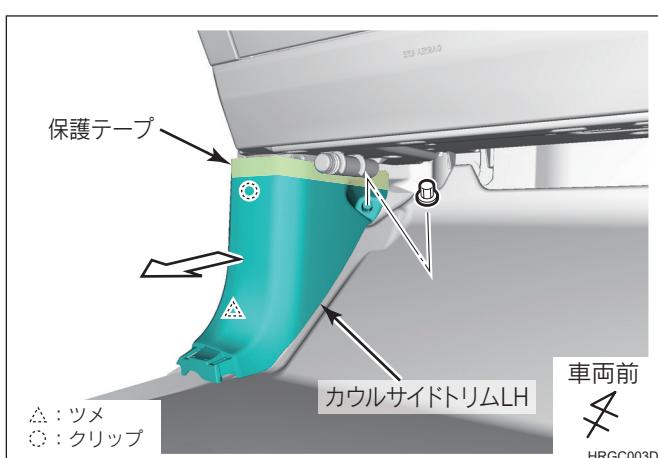


・車両部品の取りはずし

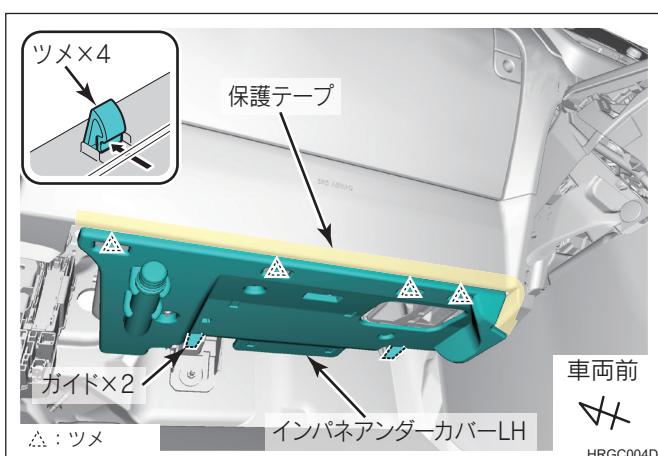
- (1) 保護テープを貼り付ける。
- (2) ツメ (3箇所) 及びクリップ (1箇所) の嵌合を **1** 矢印方向にはずす。
- (3) インパネセンターパネル LH を **2** 矢印方向に取りはずす。
- (4) 同様にインパネセンターパネル RH を取りはずす。



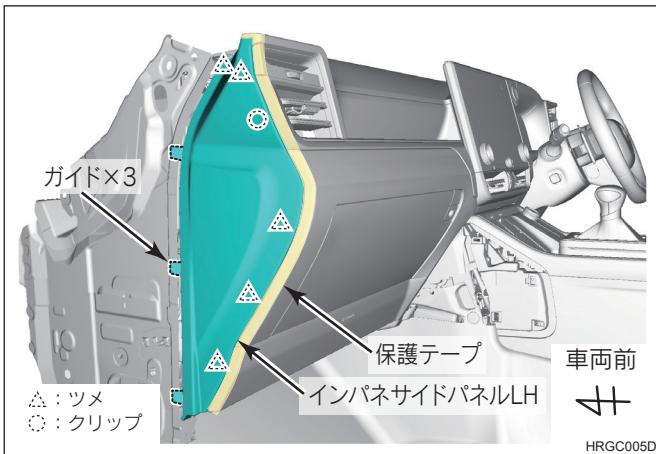
- (5) 保護テープを貼り付ける。
- (6) ツメ (8箇所) の嵌合をはずし、フロントドアスカッフプレート LH を取りはずす。



- (7) 保護テープを貼り付ける。
- (8) 樹脂クリップをはずす。
- (9) ツメ (1箇所) 及びクリップ (1箇所) の嵌合を矢印方向にはずし、カウルサイドトリム LH を取りはずす。

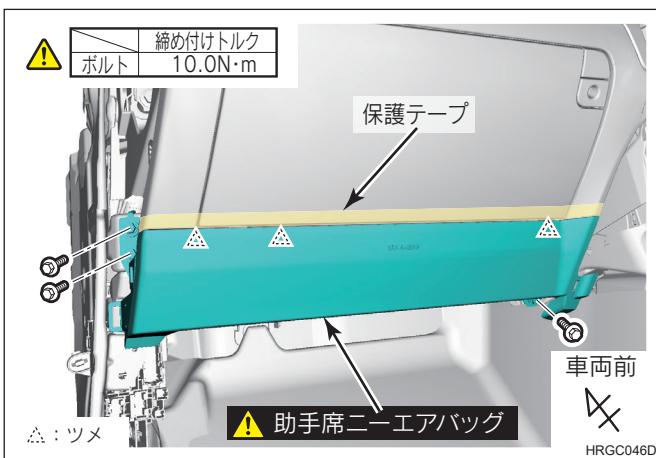


- (10) 保護テープを貼り付ける。
- (11) ツメ (4箇所) の嵌合をはずし、インパネアンダーカバー LH を取りはずす。



(12) 保護テープを貼り付ける。

(13) ツメ (5箇所) 及びクリップ (1箇所) の嵌合をはずし、インパネサイドパネルLHを取りはずす。



!**注意**

バッテリーのマイナスター・ミナルをはずしてから、90秒間は作業を始めないでください。

(14) 保護テープを貼り付ける。

(15) ボルト (3本) をはずす。

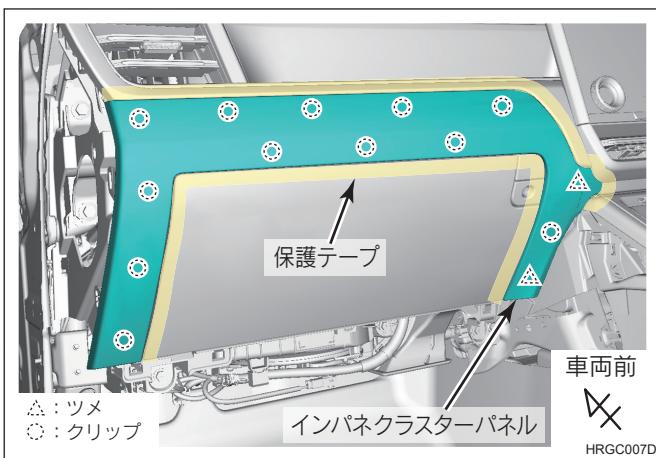
(16) ツメ (3箇所) の嵌合をはずし、助手席ニーエアバッグを取りはずす。

!**注意**

取りはずした助手席ニーエアバッグは、必ず展開面を上向きにし、保管してください。

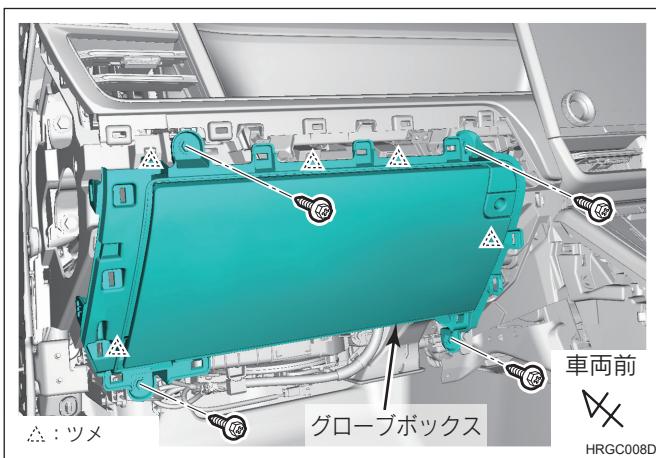
注意

復元の際は、締め付けトルク表に従い、ボルトを締め付けてください。



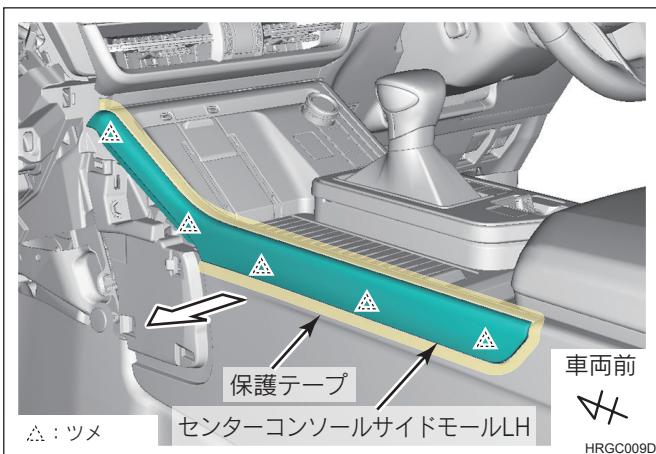
(17) 保護テープを貼り付ける。

(18) ツメ (2箇所) 及びクリップ (12箇所) の嵌合をはずし、インパネクラスター・パネルを取りはずす。

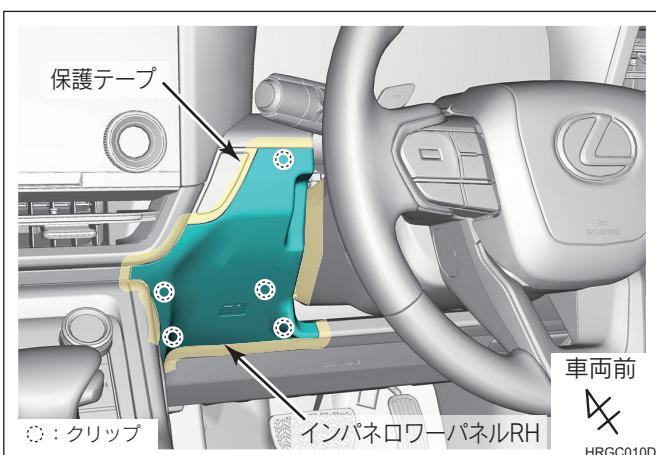


(19) スクリュー (4本) をはずす。

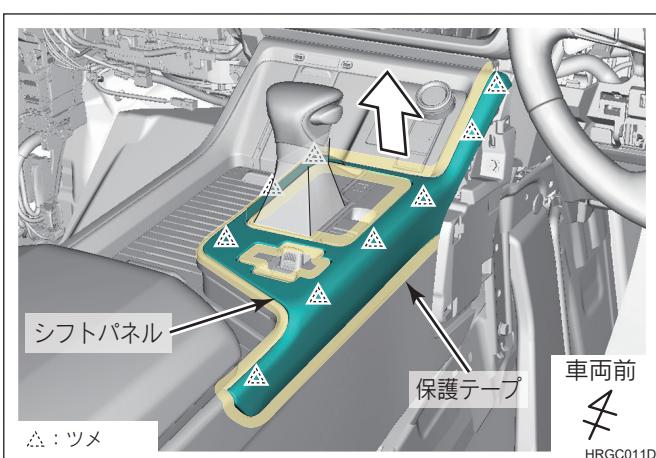
(20) ツメ (5箇所) の嵌合をはずし、グローブボックスを取りはずす。



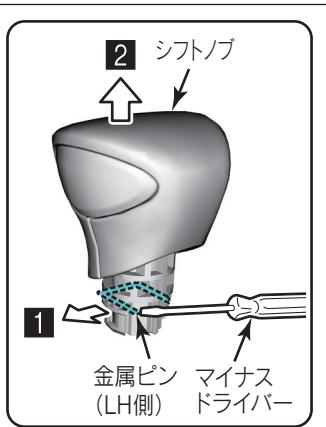
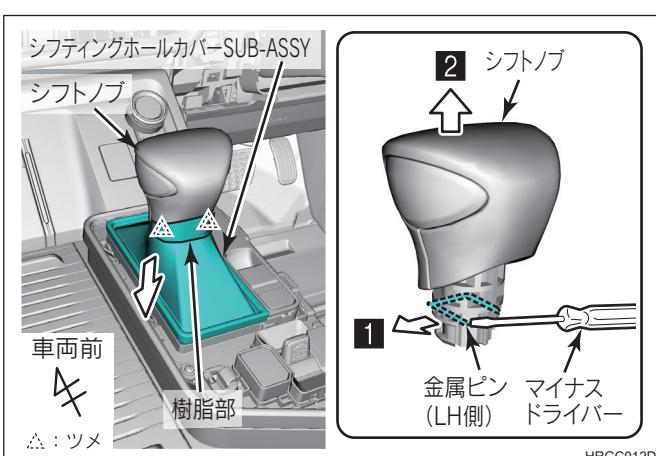
(21) 保護テープを貼り付ける。
 (22) ツメ (5箇所) の嵌合を矢印方向にはずし、センターコンソールサイドモール LH を取りはずす。



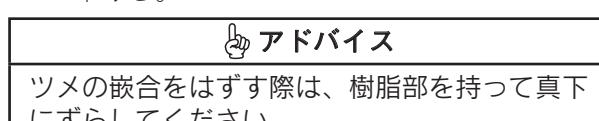
(23) 保護テapeを貼り付ける。
 (24) クリップ (5箇所) の嵌合をはずし、インパネロワーパネル RH を取りはずす。



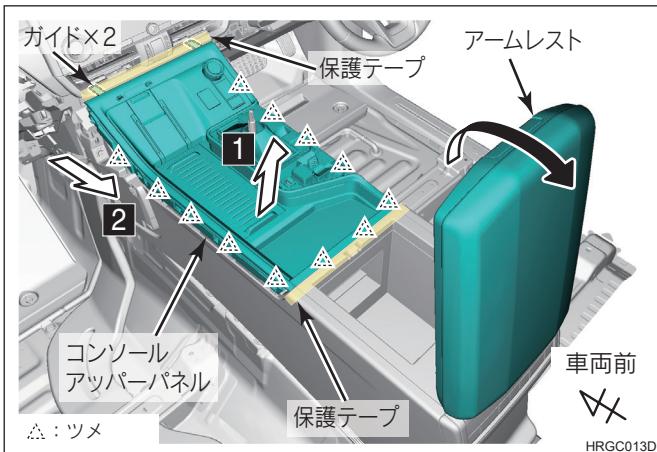
(25) 保護テapeを貼り付ける。
 (26) ツメ (9箇所) の嵌合を矢印方向にはずし、シフトパネルを取りはずす。



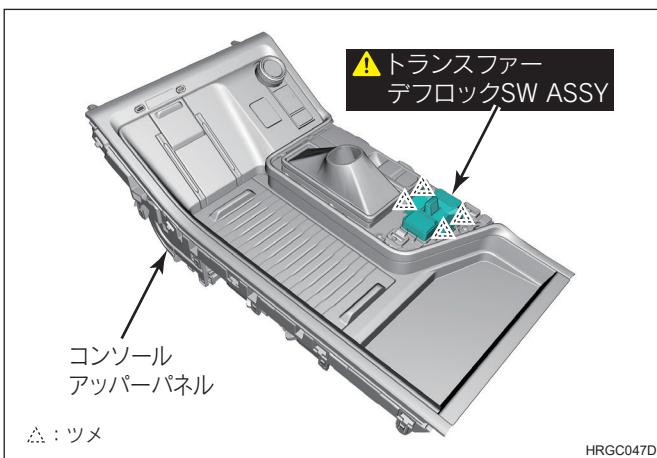
(27) シフトレバーを『N』位置にする。
 (28) ツメ (2箇所) の嵌合を矢印方向にはずし、シフティングホールカバー SUB-ASSY を下げる。



(29) マイナスドライバーを使用して、金属ピン (LH側) を 1 矢印方向に広げたまま、シフトノブを 2 矢印方向に取りはずす。



- (30) アームレストを開く。
- (31) 保護テープを貼り付ける。
- (32) ツメ (12箇所) の嵌合を 1 矢印方向にはすす。
- (33) コンソールアッパー パネルを 2 矢印方向にはずし、取りはずす。

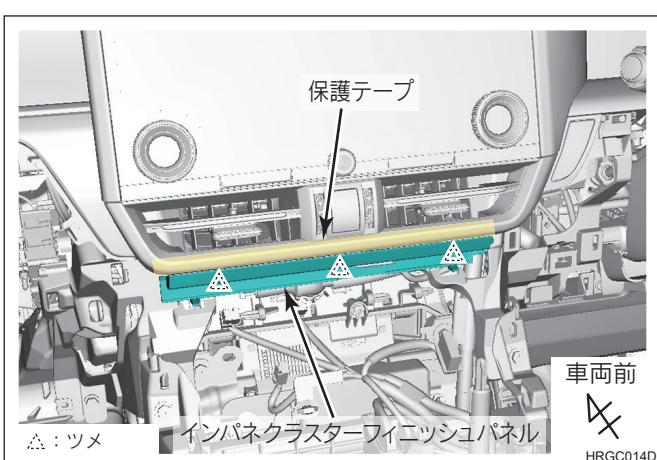


- (34) ツメ (4箇所) の嵌合をはずし、トランスファー デフロック SW ASSYを取りはずす。

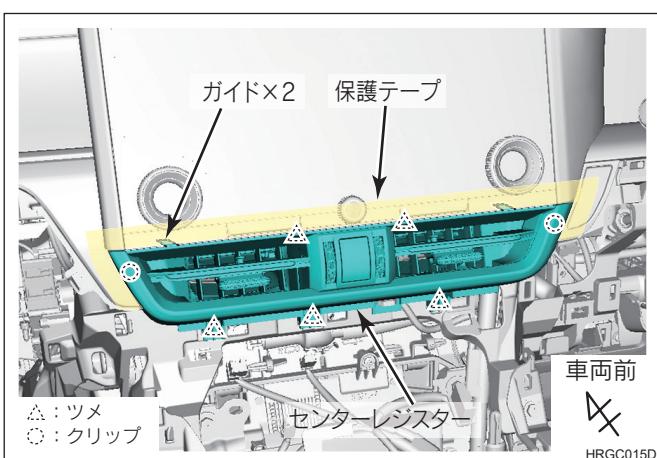
注 意

復元の際は、下記手順で作業を行ってください。

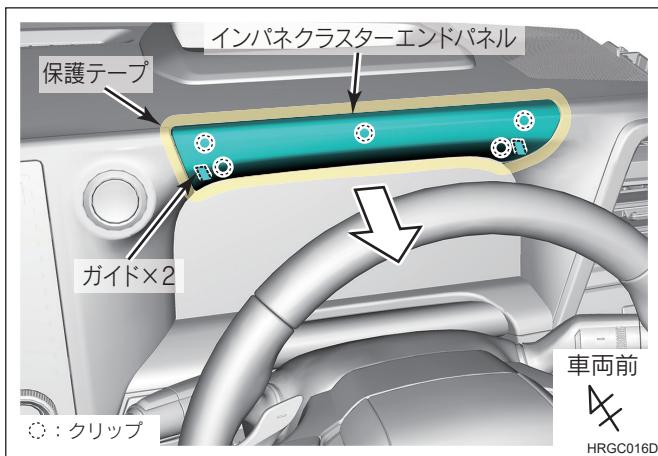
1. (33) コンソールアッパー パネル単品に (26) シフトパネルを組み付ける。
2. 1 に (34) トランスファー デフロック SW ASSY を組み付ける。
3. 2 のサブ ASSY 部品を車両に組み付けて、(29) シフトノブを組み付ける。



- (35) 保護テープを貼り付ける。
- (36) ツメ (3箇所) の嵌合をはずし、インパネ クラスター フィニッシュ パネルを取りはずす。

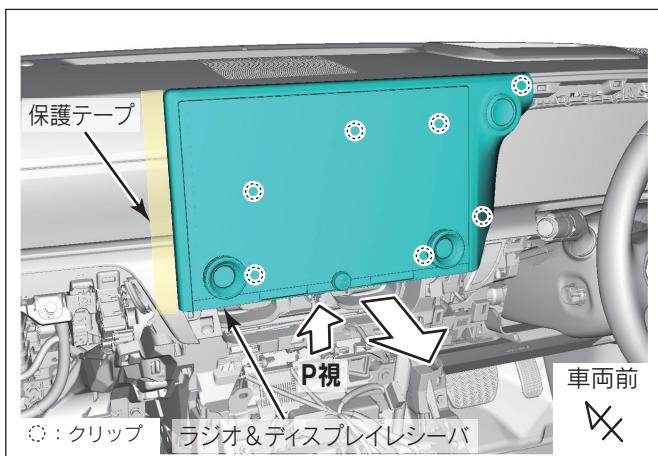


- (37) 保護テープを貼り付ける。
- (38) ツメ (5箇所) 及びクリップ (2箇所) の嵌合をはずし、センターレジスターを取りはずす。



(39) 保護テープを貼り付ける。

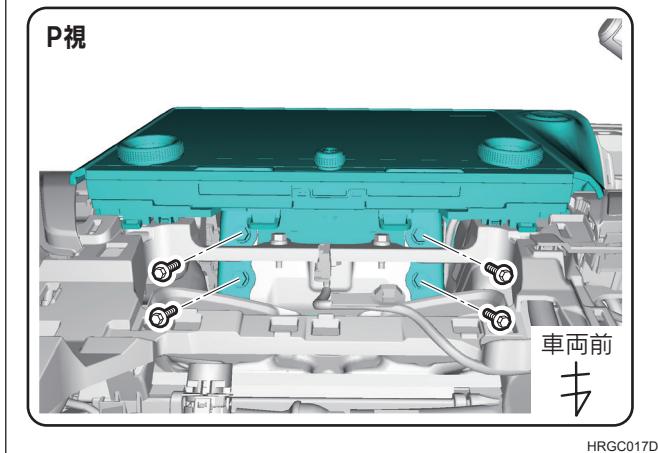
(40) クリップ (5箇所) の嵌合を矢印方向にはすし、インパネクラスター エンドパネルを取りはずす。

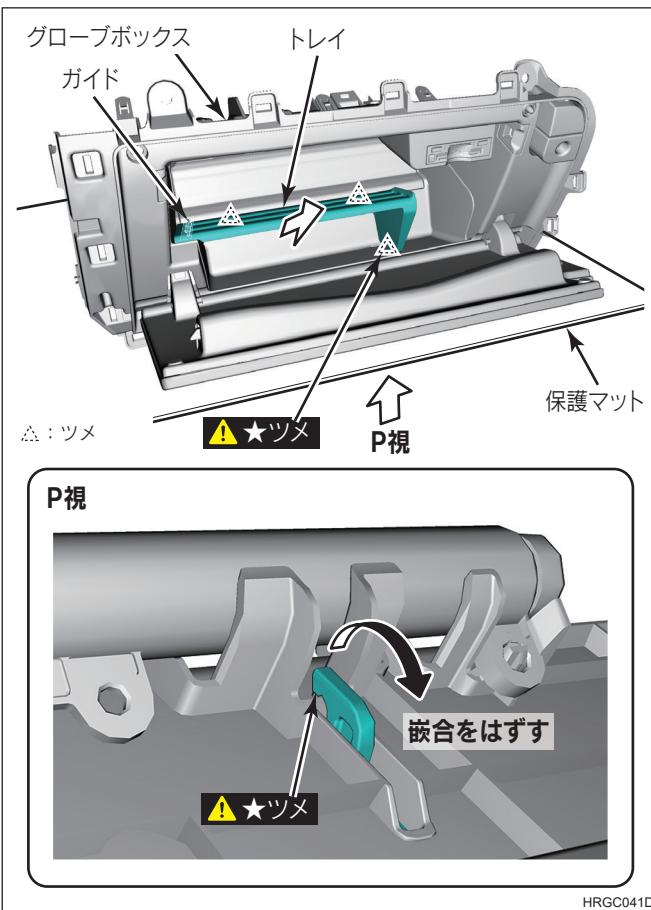


(41) 保護テープを貼り付ける。

(42) ボルト (4本) をはずす。

(43) クリップ (7箇所) の嵌合を矢印方向にはすし、ラジオ & ディスプレイ レシーバを取りはずす。





・車両部品の分解

(1) ★ツメの嵌合をグローブボックス裏から矢印方向にはずす。

注意

★ツメが破損しないよう、充分注意して取りはずしてください。

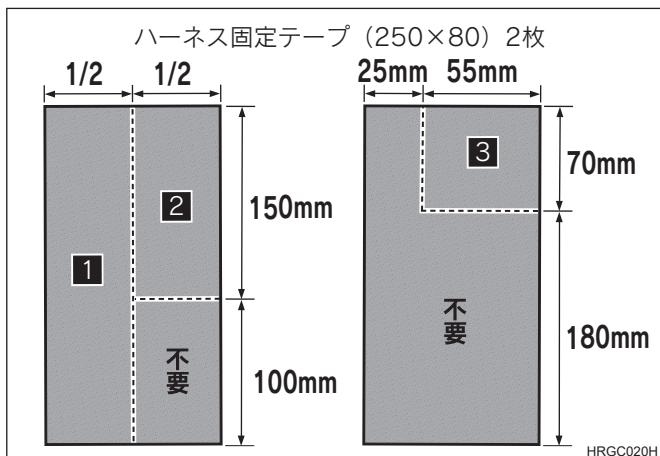
アドバイス

車両部品傷付き防止の為、必ず保護マットの上で作業を行ってください。

以降の作業も同様に保護マットの上で作業を行ってください。

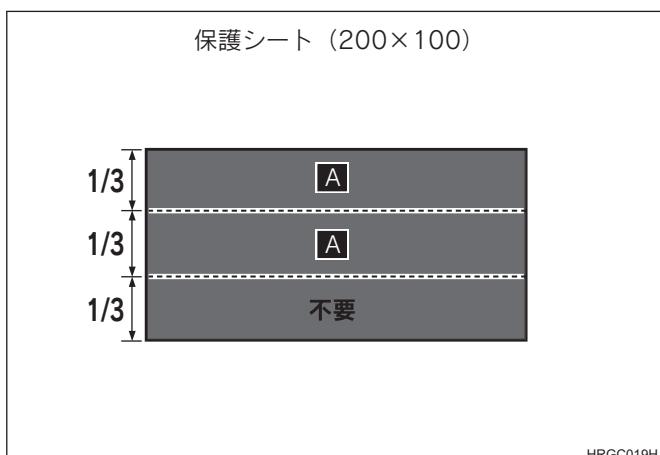
(2) ツメ (2箇所) の嵌合を矢印方向にはずし、トレイを取りはずす。

配線前準備

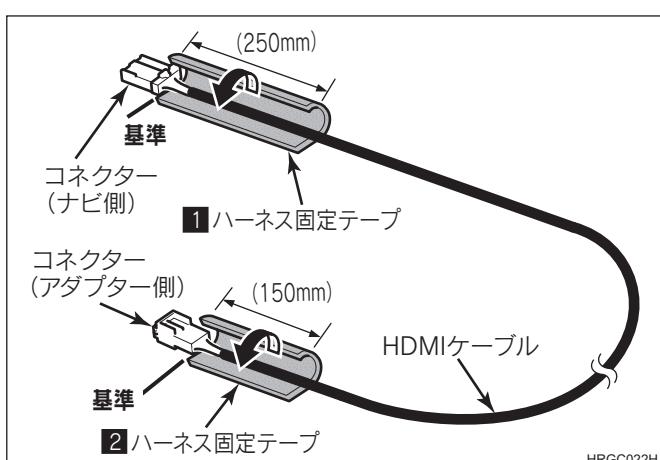


・テープカット

(1) ハーネス固定テープ (250 × 80) 2枚をカットする。

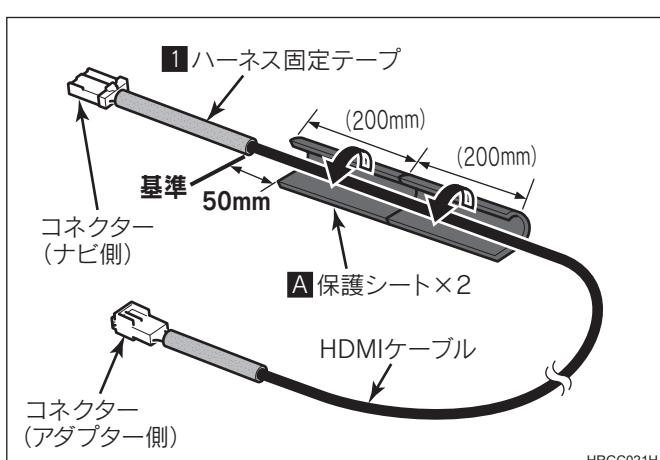


(2) 保護シート (200 × 100) をカットする。



・HDMI ケーブルの保護

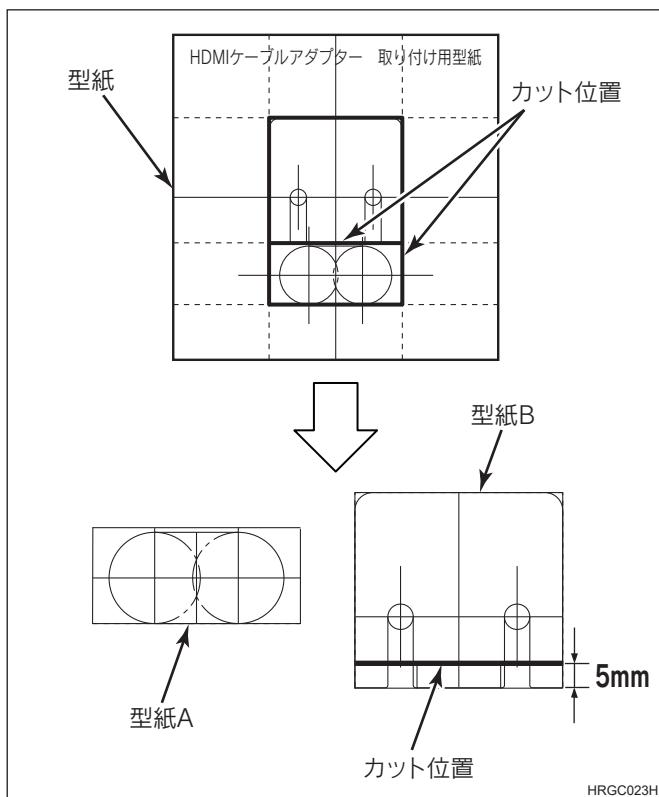
(1) 1 ハーネス固定テープ、2 ハーネス固定テープを HDMI ケーブルに巻き付ける。



(2) A 保護シート (2枚) を HDMI ケーブルに巻き付ける。

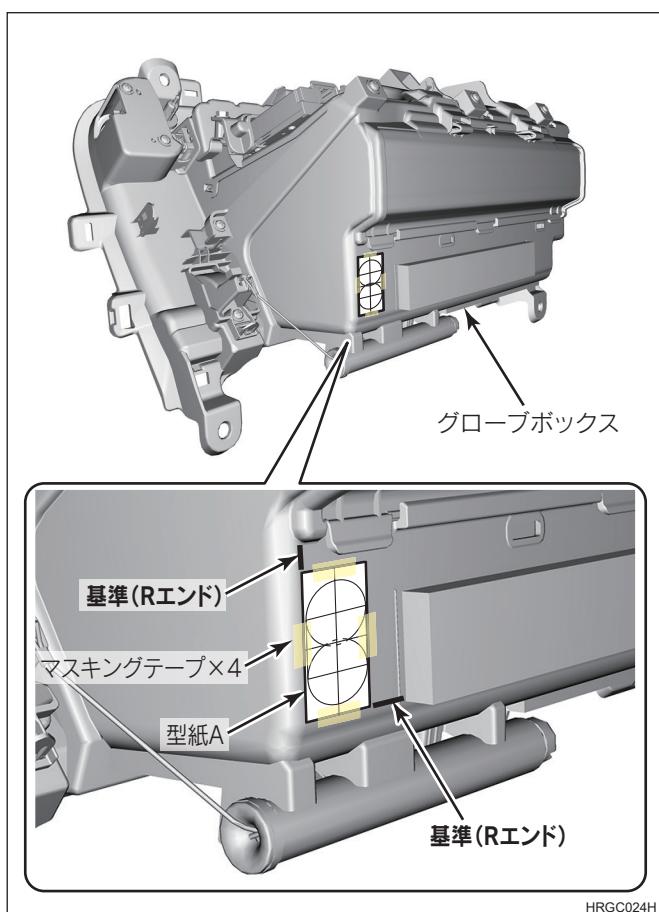
・車両部品の加工

(1) 左図に従い、型紙をカットし、型紙 A と型紙 B を区別する。

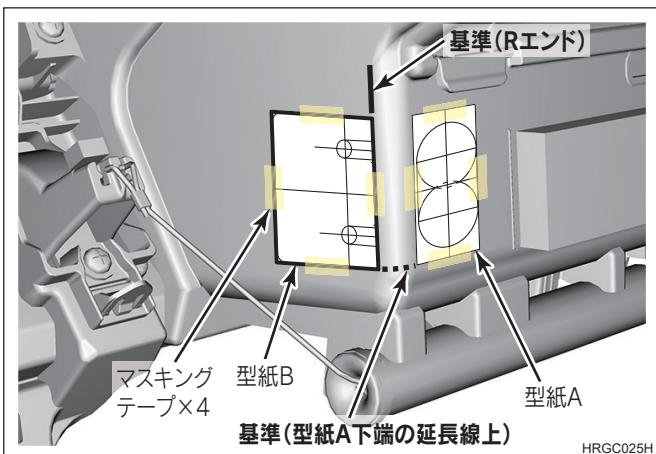


HRGC023H

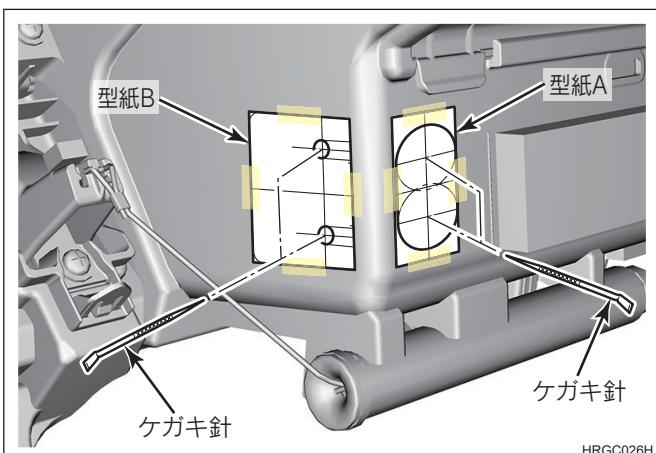
(2) マスキングテープ等を使用し、型紙 A をグローブボックスに仮止めする。



HRGC024H

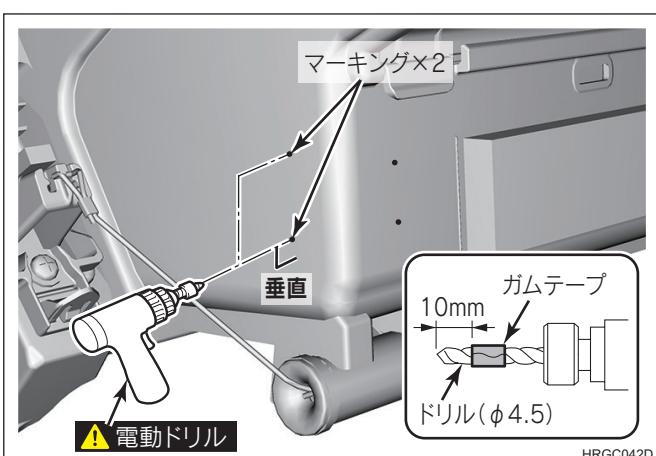


(3) マスキングテープ等を使用し、型紙 B をグローブボックスに仮止めする。



(4) 型紙 A 及び B の穴あけ位置中心 (4箇所) をケガキ針でマーキングする。

(5) 型紙 A 及び B を取りはずす。

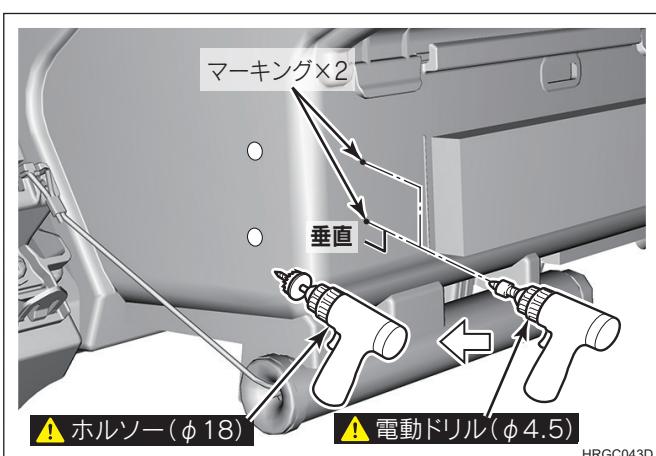


(6) 電動ドリル (ϕ 4.5) にストップバー (ガムテープ) をセットする。

(7) マーキング箇所に ϕ 4.5 穴 (2箇所) をあける。

!**注意**

電動ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。

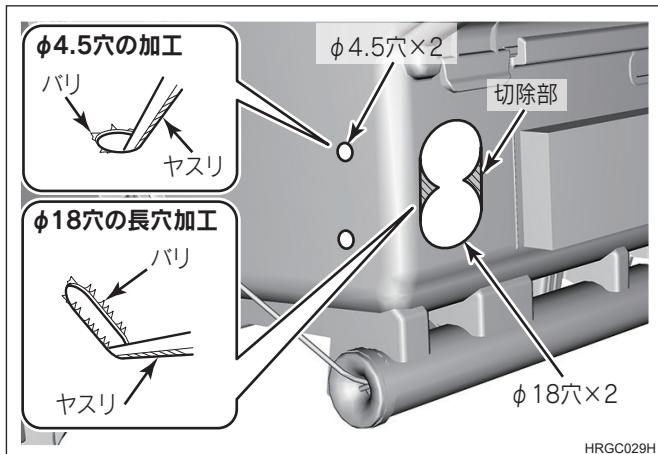


(8) マーキング箇所に ϕ 4.5 穴 (2箇所) をあける。

(9) ϕ 4.5 穴 (2箇所) にホルソーで ϕ 18 穴 (2箇所) をあける。

!**注意**

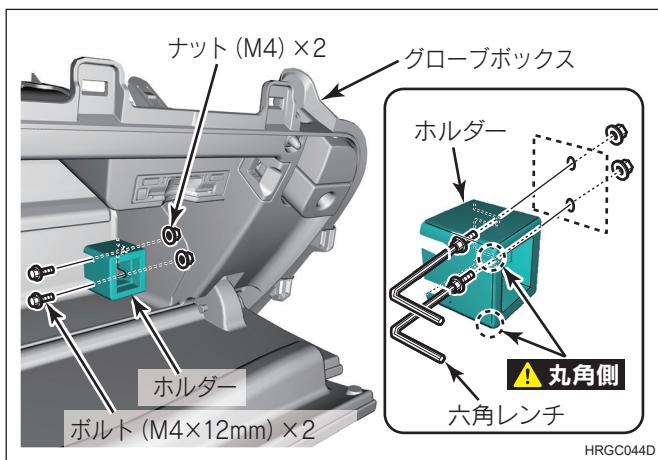
ホルソーを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。



(10) 切除部(図中斜線部)をカットし、配線穴となるよう長穴加工する。

(11) 配線穴のバリ・エッジをヤスリで取り除く。

(12) Φ4.5穴(2箇所)のバリ・エッジをヤスリで取り除く。

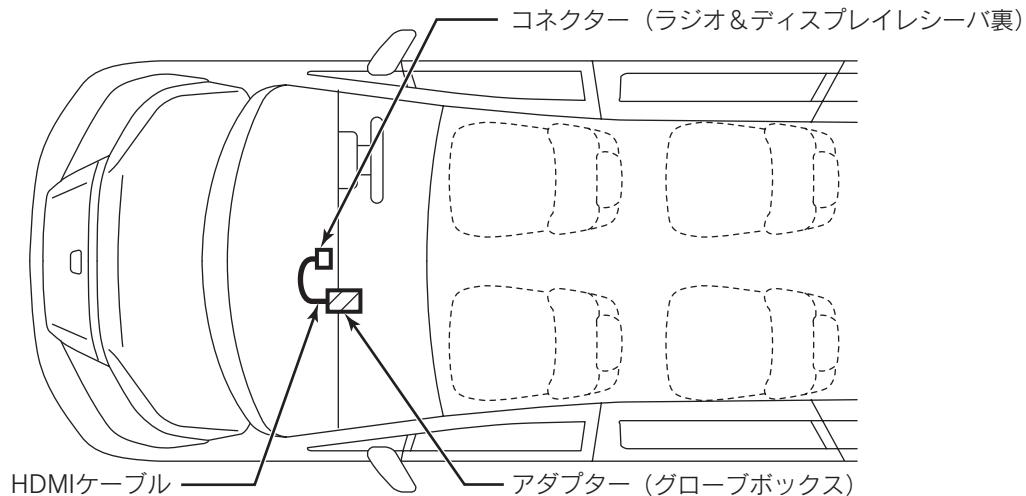


(13) ホルダーをグローブボックスに取り付ける。

注 意

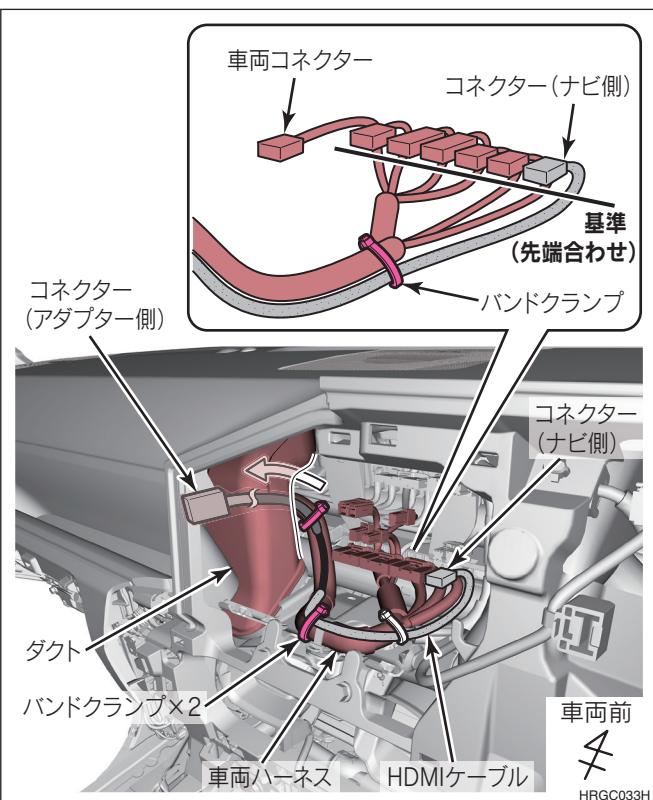
ホルダーの丸角側が車両左側になるよう、向きを間違えないように取り付けてください。

配線概要



HRGC032H

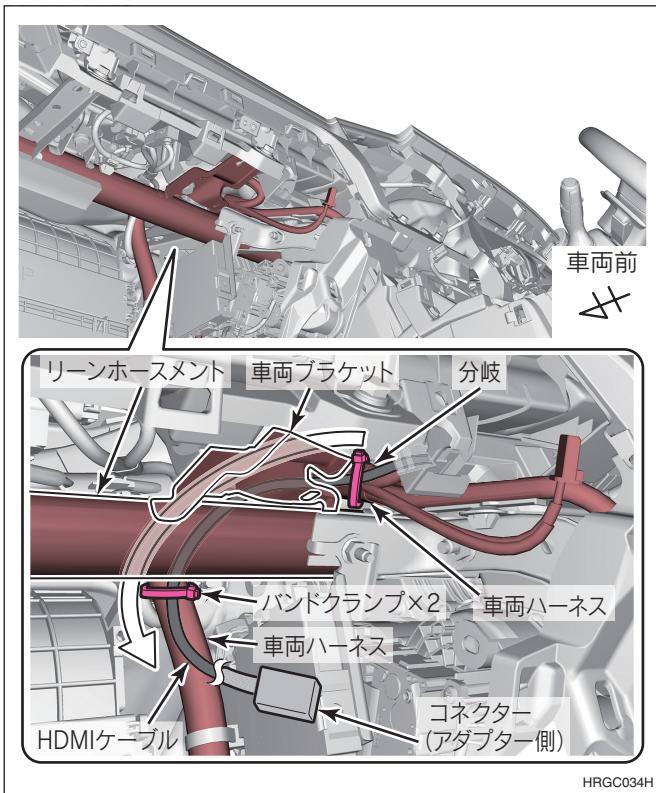
ハーネスの配線



・ HDMI ケーブルの配線

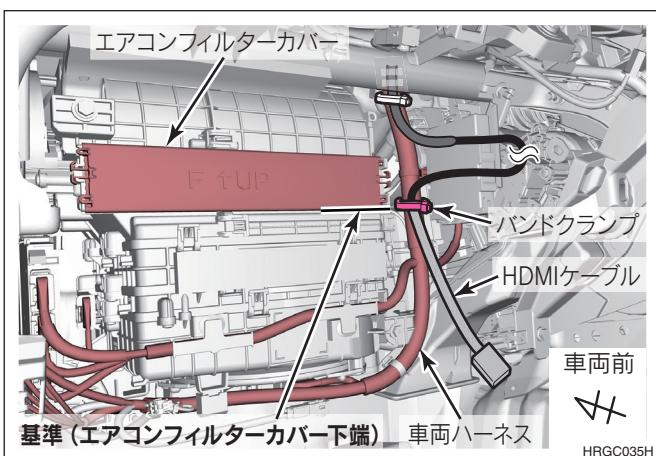
- (1) HDMI ケーブルのコネクター (ナビ側) を車両 コネクターの先端に合わせ、バンドクランプで 車両ハーネスに固定する。
- (2) HDMI ケーブルのコネクター (アダプター側) をダクトの前方に通す。
- (3) HDMI ケーブルをバンドクランプで車両 ハーネスに固定する。

HRGC033H

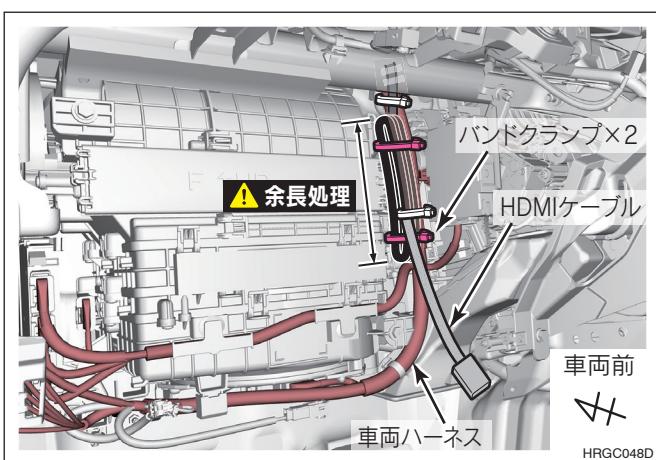


(4) HDMI ケーブルのコネクター（アダプター側）を車両ブラケットの上側、及びリーンホースメントの前方に通す。

(5) HDMI ケーブルをバンドクランプで車両ハーネスに固定する。



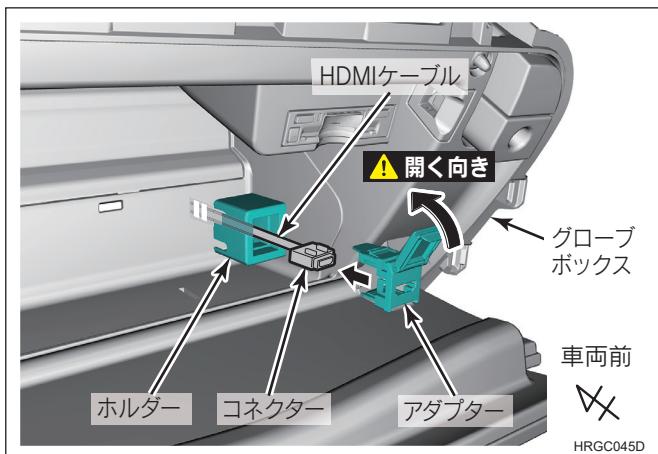
(6) HDMI ケーブルに巻き付けたハーネス固定テープの末端をエアコンフィルターカバー下端に合わせ、バンドクランプで車両ハーネスに固定する。



(7) HDMI ケーブルの余長を束ね、バンドクランプで車両ハーネスの前方に固定する。

注 意

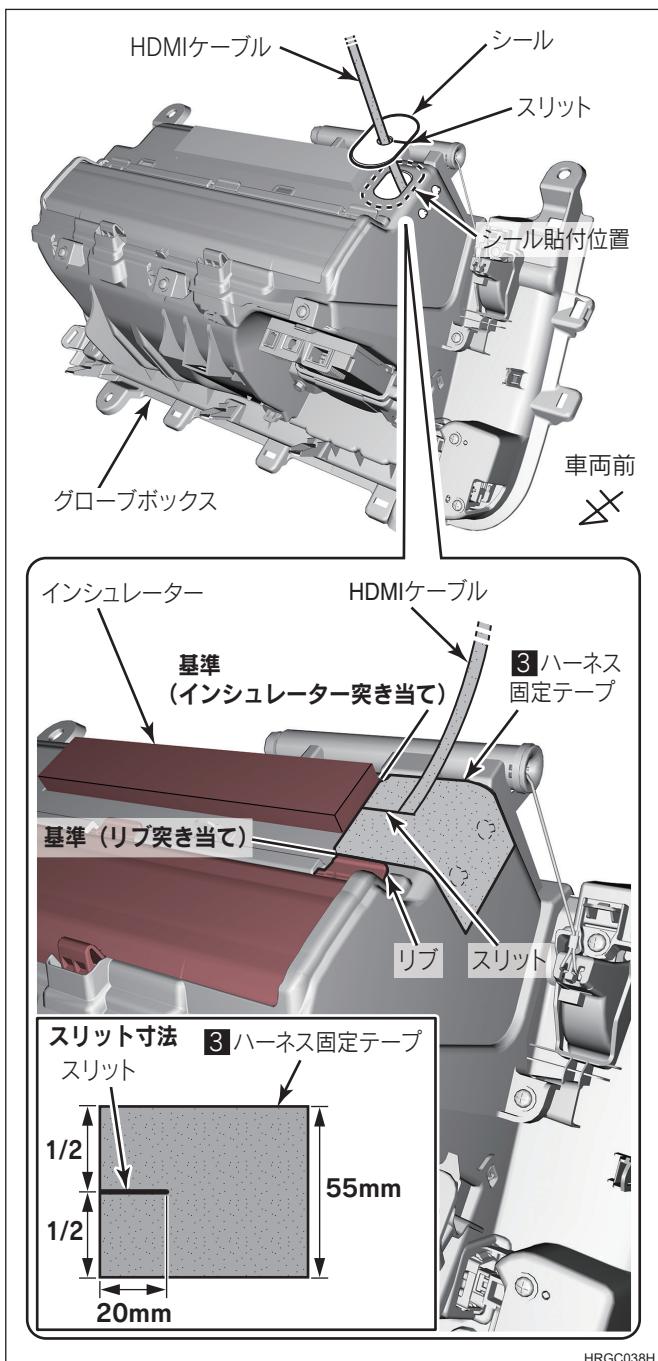
グローブボックス復元時に干渉する恐れがあるため、HDMI ケーブルの余長は車両ハーネスの前方に配置し、固定してください。



- (8) HDMI ケーブルをホルダーに通す。
- (9) アダプターを HDMI ケーブルのコネクターに取り付ける。
- (10) アダプターをホルダーに取り付ける。

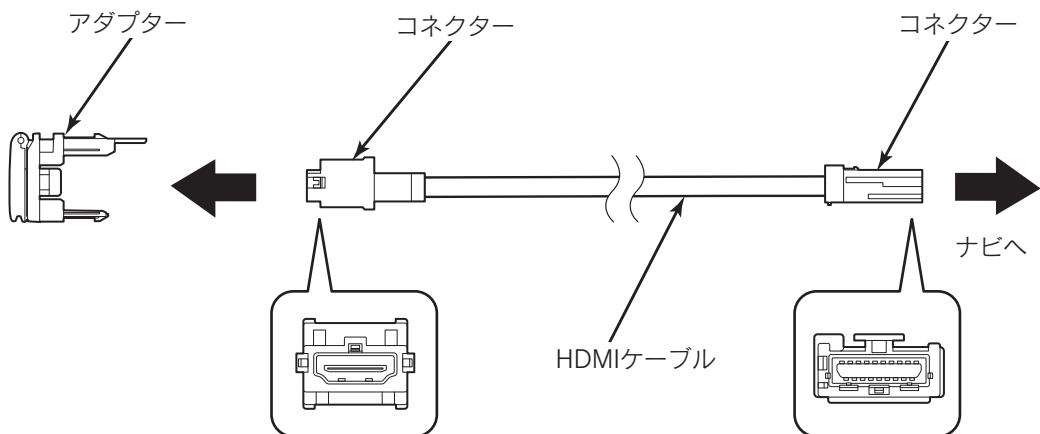
注意

アダプターのカバーが上側に開くよう、向きを間違えないように取り付けてください。



- (11) HDMI ケーブルをシールのスリットに通す。
- (12) シールをグローブボックスのシール貼付位置に貼り付ける。
- (13) 3 ハーネス固定テープにスリットを入れる。
- (14) 3 ハーネス固定テープをグローブボックスに貼り付ける。
- (15) グローブボックスを復元する。

結線方法



HRFW041H

復元作業

下記の点に注意し、取りはずした車両部品を復元してください。

注 意

- ① 車両ハーネス及び HDMI ケーブルが噛み込んでいないこと
- ② ネジ類の締め忘れ、クリップ等の半嵌合がないこと
- ③ コネクター類の嵌め忘れ、または半嵌合のないこと
- ④ 車両部品にキズを付けないこと
- ⑤ オーディオ等、電気系統に異常のないこと

バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。
車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。
※車両システムの初期化には、GTS等のツールが必要な場合があります。